

平成28年度 第1回岡山市子ども・子育て会議 全体会

平成28年10月11日（火） 午後2：00～

岡山市役所本庁舎 1階 多目的ルーム

#### 開会

- ・岡山っ子育て局長挨拶
- ・成立確認 委員20名全員出席
- ・委員自己紹介

#### 議事

- ・傍聴許可 1名

##### (1)子ども・子育て会議について

事務局 資料P. 3～6について説明

何か質問はあるか。

委員 [「なし」と呼ぶ者あり]

##### (2)会長及び副会長の選任について

司会 どなたか推薦はあるか。

委員 事務局案はあるか。

事務局 会長と副会長には、子ども・子育てに関する幅広い支援策について知見をお持ちの方をお願いしたいと考えている。

なお、部会の設置については、全体会と部会の連携、運営を円滑に進めるため、就学前教育・保育部会長については会長にお願いし、放課後児童クラブ部会長については副会長をお願いしたいと考えている。

そういった意味で、学識経験者の小川委員と松原委員を推薦させていただく。小川委員さんは過去3年間、この会議の会長を務めておられた経験もあるので、小川委員を会長に、副会長に松原委員が適任と考える。

委員 [拍手で承認]

##### (3)部会の設置について

〔議事進行は会長〕

会 長 議題3について、事務局から説明を。

事務局 岡山市子ども・子育て会議条例の中の第7条の規定の中で、「会議は、必要に応じて、部会を置くことができる」とされており、就学前教育・保育部会と放課後児童クラブ部会の2つの部会を設置して調査・審議をしていた。今後もそれぞれのテーマに関する内容について、2つの部会に分かれて、集中的にご審議をいただければと考えている。また、構成員については、お手元に事務局案をお示ししている。

なお、部会長には、前述のとおり、全体会との緊密な連携をとる必要があるため、就学前教育・保育部会は小川会長、放課後児童クラブ部会は松原副会長に、おのおのの部会長をお願いできればと考えている。

会 長 事務局から説明があった。何か質問はあるか。

委 員 〔「なし」と呼ぶ者あり〕

会 長 部会長はそれぞれ会長と副会長が務めるということだが、この部会の設置と委員ということではよろしいか。

委 員 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

#### (4)その他について

会 長 議題4について、事務局から何かあるか。

事務局 特になし

委 員 過去3年間いろいろ協議し、それぞれの部会に分かれて進行してきた。その全体の経過を含めて簡単に概略を説明していただきたい。

会 長 半数程度の新しい委員が入られたということで、この会議の3年間の情報を入れていただきたい。

事務局 ちょうど3年前、全体会を最初を開いて、このような場を設けさせていただいた。それからあと、主なものとしたら、「岡山市子ども・子育て支援プラン」をお配りをしているが、その策定に関することでご審議をいただいた。それからもう一つ大きなものが、これもお配りしている「支援事業計画」。これも岡山市にとって非常に重要な計画で、5年間の保育やその他の支援サービスの量の見込み、その確保策、そういった計画をつく

るに当たって、ご意見をいただいている。

個々の部会においては、放課後児童クラブや、支援事業計画の例えば量の見込みについて活発にご議論をいただいた。特に計画設定段階では、回数も、例えば平成26年度は就学前教育・保育部会は年間7回、放課後児童クラブも2回部会を開いていただいた。

特に前述の計画策定という大きなことがあったので、それが今の姿になっているということ。

会 長       ざっと説明いただいた。私が把握している範囲内では、とにかく岡山市の子供たちが本当に元気ですくすくと育つようにということと、そのための保護者の方々を支援するにはどうしたらいいのかということで、このメンバーは子育てに直接かかわっていらっしゃる方々の代表の方々。そういう方々の生の現場の声を出していただいて、岡山市の子供たちにとって優しい、子育てしやすい岡山市を実現するために、反映していくと。それをもとにして行政の方々がプランをつくり、実際に実行していくというように非常に大事な会だろうと思っている。

ですから、現場の生の声をしっかり出していただく。行政の方々も十分ご存じだろうとは思いますが、やはり細かいところは現場でじかに携わっている者でないとわからないこともあるかと思う。それを行政の方にしっかり聞いていただいて、プランとして盛り込み、実施していただく。そういう内容を今事務局のほうからご説明いただいたということ。

ほかに意見・質問はあるか。

委 員       この話し合いの中で出た成果というのはどういうものがあるのか。

事務局       個別の事業ということではない。放課後児童クラブでは、待機児童を解消していくために施設もつくるし、運営方法の工夫もしていく。それをつくる目標が前述の支援事業計画であるとかプランということ。

それから、保育園での待機児童が大変多いというのは新聞等でもご存じだと思うが、それについても、なかなか足りない部分が多くて追いついてないが、その計画をもとに、それを満たすように施設等の整備をしっかり進めていっているところ。

事務局       事務局より、追加の説明をさせていただく。この子ども・子育て会議は、

国が平成27年度から施行した子ども・子育て支援新法に基づくもの。これは国でも同様のこの子育て会議を設けており、岡山市においてもこの会議を設けて平成27年度からの子ども・子育ての事業計画を具体的に立てていくということで、原案をお示しし、皆さん方のご意見を反映しながら計画を立てていった。

具体的に事業計画、例えば就学前教育・保育でしたら、それぞれのエリアごとに今後の必要な量、どれぐらいの教育・保育のニーズがあるかというのを捉えて、それぞれのその地域における施設整備等を考えていくと。その地域の分け方についても、まずこの会議において皆様方のご意見を諮りながら、最終的には30のエリアというのを設けて、それぞれのエリアごとのニーズとそれから施設の確保を図っていくために、5年間の計画を立てていくということになっている。

それから、新制度施行に伴いまして、岡山市においても放課後児童クラブも、それから認定こども園も、制度それから基準が変わっている。その基準についてご説明し、認定こども園の整備計画というのもこの会議に諮ってご意見を伺いながら進めている。それから、放課後児童クラブについても、従前と変わって小学校6年生までの受け入れをするということが基本になり、また施設の面積基準等も変わっているので、そのあたりも整備計画、具体的に放課後児童クラブをどのように各学区整備していくかということで、原案を説明しながら皆さん方のご意見を反映した実際の事業計画を立てている。

5年間の計画の中で、中間年の事業の見込みを修正するということがあり、実は今年度、市民アンケートをとっており、そのアンケート結果を現在集計しているところ。その集計結果をもとに、この会議でまたご報告し、ご意見を伺いながら事業計画の中間見直しを行っていきたいと考えている。詳細な資料については、各部会等でまたご説明をさせていただく。

会 長 他に質問・意見はあるか。

委 員 〔「なし」と呼ぶ者あり〕

・閉会